

中城村添石「添石旗頭保存会」

集落
部門

伝統復活で興すふるさとづくり
(平成19年度認定)



中城湾に面する添石地域は、かつて中城城跡の東側に位置していたが、約60年前に現在の場所へ移動してきた。中城城跡とゆかりが深かったこともあり、城跡内には添石の拝所が今も残されている。

集落の祭祀行事が活発に行われている地域であり、戦後とぎれていた旗頭を復活させようという動きが出てきた。そこで、添石旗頭保存会を設立し、旗頭に使用する縄結のための視察、製作を行い、平成16年度に、「第1回添石旗頭祭り」を行い旗頭を復活させた。

その後は、旧暦7月17日に旗スガシを行うようになり、また、新暦1月2日には中城城跡内で行われるカーウビー（水への感謝の儀）の際にも旗を掲げている。旗スガシに合わせ、農村公園では相撲や空手、舞踊などの旗頭祭りによる都市と農村の交流も行っており、伝統復活で興すふるさとづくりに取り組んでいる。

また、添石地域では年に2回、住民による農道や御嶽などの清掃活動が実施され、集落内を良好な環境に保つための活動に取り組んでいる。

